

土曜講座

第2回岩松寺子屋「須賀神社 と横町浮立」

平成23年度魅力ある学校づく

り

○日 時 平成23年7月9日(月) 9時00分～10時00分 ○場 所 岩松支館
○講 師 円城寺辰雄さん(青少健役員) ○テーマ「須賀神社と横町浮立」 ○参加者 32名



○内容(要旨)

- ・ 祇園社がたてられる前は「清雄神社」であった。
- ・ 南北朝時代に千葉胤貞が京都の祇園社(八坂神社)から分祀、勧請し建てたのが小城祇園社。
- ・ 明治9年から須賀神社(須佐之男命の出雲地名の須賀をとった)と言うようになった。
 - ・ 毎年3回のお祭りがあっている。はなしばを家の門につける「はなしば祇園」、軍事訓練(士気を高める)のための「山挽き祇園(団扇祇園)」、柿を食べたら病気にならないとして「柿祇園」。
- ・ 大正15年に須賀神社が返納され、すべて小城町に寄贈された。
- ・ 須賀神社の行事は横町、上町、中町、下町、布施が里、高原の山鉾保存会で行われている。
- ・ 横町は浮立を奉納し、上町、中町、下町は山挽きをおこない、布施が里、高原は神社の除草などを行っている。
- ・ 山挽きは、7月23日には完成することになっている。各町の山には戦国時代の武将を重複しないように飾り付ける。

- 朝7時に火矢が上がり、3台の山が下り下町に正装し10時に神事が行われる。その後上り11時に須賀神社に集結する。16時に下る。
- 横町の浮立は前日（曳山行事前夜祭）に横町公民館を出発し、本殿、下町の乙宮神社に奉納する。横町の浮立の奉納（小謡）がないと、山笠は須賀神社へ向かって上がることが出来ない。
- 横町浮立の行列は、高張り提灯2名、小謡7人、太鼓1人、笛4人、子ども鐘・踊り手（幼児～大人）45人のほかに手持ち提灯行列（大人60人）で組織されている。